

令和3年度 政策トライアル枠予算 取組状況

	部局名	所属名	事業内容	予算額 (千円)
1	総務部	広報広聴課	・「県民くらしナビ」へのチャットボットの導入 (県HPに掲載している「県民くらしナビ」にチャットボットを試験的に導入し、県民が求める県政情報へのアクセスの利便性向上について検証)	4,576
2	総務部	人事課	・外部コンサルタントを活用した働き方改革 (超過勤務の縮減など働き方改革を進めるため、実績のある外部コンサルタントを活用した仕事の進め方の見直しをモデル的に実施)	2,332
3	地域戦略部	未来戦略課	・SDGs人材育成のモデル事業の実施 (ふくいSDGsパートナー登録企業・団体と県が連携して、福井の未来を担う次世代を対象とした新しい学習・体験プログラムを作成・実施)	1,686
4	嶺南振興局	嶺南プロジェクト推進室	・新たな誘客素材発掘調査 (若者の目線でパワースポット等を対象に嶺南の知られざる魅力を発掘し、観光誘客の可能性を調査)	2,000
5	嶺南振興局	嶺南プロジェクト推進室	・縄文ロマンパークの施設連携イベントの実施 (パーク内の施設連携による誘客促進策について検討会を設置し、連携事業を検討・実施)	2,024
6	嶺南振興局	嶺南プロジェクト推進室	・若狭路城巡りモデル事業の実施 (嶺南の城巡りモデルコースを作成し、情報発信やアンケート調査を実施し、観光コンテンツとして今後の事業展開の方策を検討)	2,000
7	嶺南振興局	農業経営支援部	・若狭から関西への農産物流通ネットワークの実証 (県内各JA農産物直売所で取り扱う農産品を、若狭を起点として関西へリレー輸送する流通経路の開拓、需給調整体制の構築)	868
8	交流文化部	定住交流課	・ナッジを活用した移住促進PRの実施 (福井への移住に向けた行動を促すことを目的にナッジを活用したターゲット広告を配信し、行動喚起の有効性を検証)	1,788
9	交流文化部	観光誘客課	・大野市にある貴重な地質の現地調査の実施 (大野市内にある全国的にも貴重な地質の現地調査を行い、新たな観光・教育資源となるかを検証)	1,500
10	交流文化部	新幹線開業課	・東京新聞へのエイプリルフール広告の掲出 (4月1日付けの東京新聞にエイプリルフール広告を掲出し、「県民衛星」「福井」「越前ガニ」等のキーワードが話題になっているか、新幹線開業PRチャンネル等へのアクセス数が増えるか検証)	2,860
11	交流文化部	新幹線開業課	・じゃらん宿泊旅行調査緊急対策セミナーの開催 (7月に発表されたじゃらん宿泊旅行調査2021の結果を受け、県内観光事業者等を対象に、全国の成功事例等を紹介するセミナーを開催)	990
12	安全環境部	環境政策課	・カーボンニュートラルに向けた再エネ設備導入等実態調査 (県内企業や県民を対象に、太陽光発電設備や次世代自動車の導入等に関する現状・課題等を調査し、ニーズに即したCO2排出抑制策を検討)	2,997
13	安全環境部	自然環境課	・「くくりわな」による錯誤捕獲防止に関する調査 (シカ用の「くくりわな」にかかるツキノワグマの錯誤捕獲を防止するため、ツキノワグマがかかりにくい「わな」を設置し、効果を検証)	1,460
14	健康福祉部	地域福祉課	・災害時要配慮者の受入可否に関する現地調査 (災害時における要配慮者の避難の実効性確保に向けて、県内のホテルや旅館における災害時要配慮者の受入可否など現地調査を実施)	1,560
15	健康福祉部	健康政策課	・適正服薬に向けた「お薬手帳カバー」の配布 (薬の適正処方を図るため、モデル地区の住民に「お薬手帳カバー」を配布し、お薬手帳の持参率向上を検証)	2,310
16	健康福祉部	障がい福祉課	・LINE等を活用した相談窓口案内 (悩みを抱える県民を適切な相談機関へ早期に導くため、LINE等を活用した相談窓口案内が有効であるか検証)	1,320

	部局名	所属名	事業内容	予算額 (千円)
17	健康福祉部	障がい福祉課	・発達障がい児者への就労支援 (「発達障がい児者への福井型就労支援プロジェクト」チームを立ち上げ、福祉分野、教育分野、労働分野が連携して、今後の発達障がい児者の就労支援策を検討)	1,048
18	健康福祉部	子ども家庭課	・産前・産後のケアに関する調査 (今後の母子保健事業における効果的な支援のあり方を検討するため、産前・産後における生活状況、サービス利用状況および支援ニーズ等を把握)	2,048
19	健康福祉部	子ども家庭課	・ヤングケアラーの実態調査 (ヤングケアラーとされる子どもの具体的なケアの内容や必要としている支援を把握するため、県内のヤングケアラーの実態調査を実施)	2,691
20	健康福祉部	地域医療課	・中小医療機関における看護師確保に向けた実態調査 (中小医療機関の看護師確保を促進するため、県外に進学した看護学生および本県出身の看護師に対するインタビュー調査や県内医療機関の求人状況や採用実績等に関する実態調査を実施)	1,057
21	産業労働部	産業政策課	・新たな成長産業育成に向けた本県産業の構造分析調査 (本県の産業構造や成長産業分野に関する分析・情報収集を実施し、県内企業の生産技術や製品等とのシナジー効果の高い付加価値産業を検討)	3,221
22	産業労働部	産業政策課	・ニュー・ノーマル対応型ビジネス支援に向けた消費者行動の分析調査 (コロナ後の消費行動やキャッシュレス決済等の動向調査や、データ分析等を踏まえ、ニュー・ノーマルに対応した事業展開の支援策を検討)	2,263
23	産業労働部	産業政策課	・魅力ある雇用環境整備に向けた新たな働き方の実態調査 (テレワーク等の新しい働き方の導入状況等の調査、課題分析を実施し、若者や女性、移住者等が魅力を感じる雇用を増やすための支援策を検討)	2,263
24	産業労働部	企業誘致課	・国際フェリー新規航路誘致に向けた事前調査 (敦賀港に韓国・ロシア国際フェリーの新規航路就航を検討している船会社と共に、貨物や人流についての市場調査を実施し、新規航路就航を支援)	1,418
25	産業労働部	企業誘致課	・海外クルーズ客船誘致活動委託事業 (海外クルーズ客船社への誘致活動を展開し、アメリカやヨーロッパ等からのクルーズ船誘致を図るため、現地で営業活動を行う事業者へ委託し、クルーズ客船会社のキーマンを本県に単独で招へい)	2,936
26	産業労働部	産業技術課	・ものづくり企業連携モデルの検証 (産地の活性化に意欲的な企業で構成するグループが、産地における活動の主体となるための手法を、B to B向けオープンファクトリーの実施を通じて検証)	1,640
27	農林水産部	流通販売課	・直売所間の相互輸送網の検証 (県内直売所全体の魅力向上および売上増加を図るため、直売所間の輸送網を構築し、効果的な輸送方法について検証)	1,815
28	農林水産部	流通販売課	・贈答用セットによる福井県産米の販路開拓検証 (福井県産米のさらなる輸出拡大を図るため、福井米の贈答用セットについて、現地のニーズや課題を把握し、新たな販路開拓の可能性を検証)	2,000
29	農林水産部	園芸振興課	・福井梅の消費拡大に向けた体験講座の実施 (梅干し体験講座・キットの配布を行うとともに、あわせて実施するアンケートを通して県民への梅の定着率・ニーズを把握し、今後のPR活動の拡充・県内販路の拡充を検討)	788
30	農林水産部	水産課	・あわら温泉における「若狭まはた料理」定着化に向けた需要調査 (今年度から本格出荷される「若狭まはた」をあわら温泉で夏の名物として定着化させるため、メニュー開発、試験提供等の需要調査を実施)	1,966
31	農林水産部	県産材活用課	・企業の木材利用に関する意識等調査の実施 (今後の民間施設における県産材の利用拡大を図るため、県内企業を対象に木材利用に対する意識調査等を実施)	1,995
32	農林水産部	県産材活用課	・ふくい林業カレッジにおける試行的研修の実施 (ふくい林業カレッジにおける伐倒の実技研修に、伐倒練習機を用いた研修を試行的に実施し、導入の可否について検討)	872
33	土木部	道路保全課	・冬期のAIによる路面状態判別の実証 (冬期に道路カメラの画像と気象条件から、AIが路面の状況を判別する実証実験を実施)	2,400

	部局名	所属名	事業内容	予算額 (千円)
34	教育庁	高校教育課	・「全国高校生プレゼン甲子園」の開催 (「コロナ禍の先にある未来への提言」をテーマに、高校生の論理的思考力やプレゼンテーションスキルを競う大会を実施。全国からの応募を念頭に、まずは北陸エリアに重点的に周知し、オンラインにより開催)	1,370
35	教育庁	生涯学習・文化財課	・民間事業者を活用した無形民俗文化財の再生支援 (民間事業者がコーディネート役となり、若者を中心とした再生隊が企画立案し発表機会などを創出。無形民俗文化財の再生により地域のまちづくりや観光資源として活用)	566
36	警察本部	生活安全部	・ストーカー事案解決に向けた車載カメラによる捜査 (被疑者特定のため、試験的に車載カメラを活用し、事案の早期解決と被害者の安全を確保)	218
37	警察本部	交通部	・横断歩道における交通事故抑止のための検証 (試験的に信号のない横断歩道が設置された交差点における道路標示を見直し、自動車等の停止率向上に向けて検証)	1,029
38	警察本部	交通部	・高校生に対する自転車利用時の交通安全教室の開催 (自転車乗車中の交通事故抑止に向け、試験的に高校生に対して、スタントマンが交通事故を再現し、危険性を直視させる交通安全教室を開催)	1,861
			合計(令和3年9月16日時点)	69,736